

防災・減災部門

応募事例名

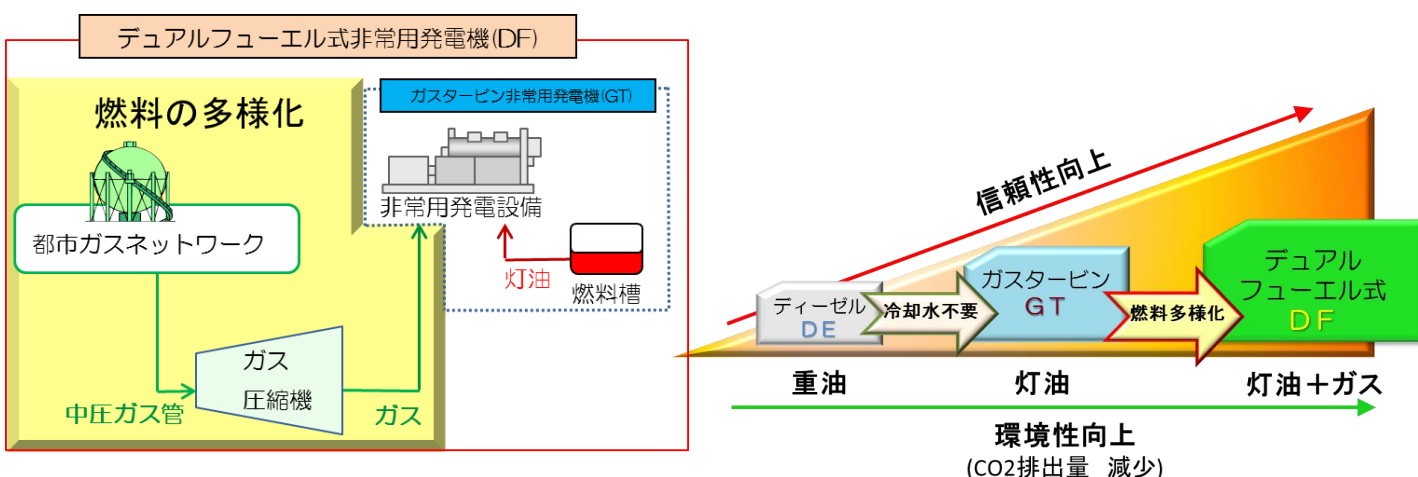
信頼性の高いデュアルフューエル式非常用発電機の導入 ～首都直下地震への備え～

応募団体名)東京都下水道局

応募事例の概要

東京都下水道局では、停電などの非常時の電力を確保するため、非常用発電設備を整備している。

東日本大震災時に非常用発電に必要な液体燃料の入手が困難となった教訓を踏まえ、震災後も安定供給の実績を持つ都市ガス(中圧)と、従来の液体燃料(灯油)を併用して運転できる「デュアルフューエル式非常用発電機」を導入し、危機管理体制の強化を図った。



PRポイント

都市ガス

- 供給元と直接接続により
 - ・燃料の陸上輸送が不要
 - ・長時間連続運転が可能
- CO2排出量抑制

信頼性向上

環境性向上

灯油

- 安価な燃料による運転
- 備蓄量に合わせ、単独運転可能

運用コスト
縮減